

『地上デジタル放送』 準備説明会のご案内

地上デジタル放送を楽しむための、総務省による説明会(無料)を開催します。地上デジタル放送の目的や魅力・受信方法・地デジの悪質商法の手口などをやさしく、丁寧に説明いたします。

地デジ説明会の会場と開催日時は次のとおりです。都合の良い時間の会場にお越しください。

会場	開催日	開催時間
幌延町公民館 2階大ホール	7月25日(土)	13:00~
問寒別公民館大ホール	7月25日(土)	15:30~
幌延町公民館 2階大ホール	7月25日(土)	18:30~

*説明会は、質疑を含めて1時間程度の予定です。



お問い合わせ先

総務省 北海道北テレビ受信者支援センター
(デジサポ道北)説明会事務局
TEL 0166-21-6450 (平日:午前10時~午後6時まで)

5月27日(水)

故笹井金繁さんに特旨叙位伝達

本年4月2日にご逝去された故笹井金繁さんが正六位に叙され、ご遺族の笹井英子さんに町長から伝達されました。

故笹井金繁さんは、幌延町議会議員、幌延町議会副議長などを永年にわたり務め、地方自治の育成発展に貢献されました。その功績が認められ平成12年には勲五等双光旭日章を受章されています。



師を乗せて飛ぶドクターヘリは、現場到着後すぐに救急治療を施すことができ、必要に応じて治療をしながら患者を受け入れ病院まで搬送しますが、課題もあります。

搬送時間の大幅な短縮を図ることができ、現場へ到着した時から治療を始めることができるようになります。

二つ目の課題としては、ドクターヘリの運行体制の充実があげられます。道北圏のドクターヘリは、旭川赤十字病院を基地病院とし、複数の病院が連携して医師を確保していますが、医師不足などが問題となっております。

して体制を維持できるかという不安が残ります。また、財政的な負担についても今後の課題です。

それでも、すべての人が良質で適切な医療サービスを受けることが出来ることは、絶対に必要なことであり、地域の共通の問題として、今後さらに協議を深めていくこととなります。

ドクターヘリの話

ドクターヘリは、1970年にドイツで誕生しました。医師がヘリコプターで患者の元へ向かい、いち早く初期治療を行なうシステムです。

日本でも1990年頃から実験が行なわれ、2001年にドクターヘリ導入促進事業が始まって以来、ドクターヘリへの理解が進んできています。しかし、年間2億円近い運行費用がかかることなどから、運用は不十分な状態でした。2007年に通称「ドクターヘリ法」が成立し、現在、各地で導入が進められています。

なお、ドクターヘリ先進地であるドイツでは、ほぼ日本と同じくらいの面積ですが、国内に73機のドクターヘリが配備され、国内どこでも要請から15分以内で到着できる体制が整っています。

	国土面積
日本	377,835キロ平方メートル 1億2,716万人
ドイツ	357,021キロ平方メートル 8,217万人